

米国の生産、小売の回復が続く

ポイント① 鉱工業生産が加速

7月15日に発表された6月の米国の鉱工業生産指数は、前月比+5.4%と5月の同+1.4%から加速しました。ただ、前年同月比では-10.8%と大幅なマイナスに留まっています。また、鉱工業の設備稼働率は68.6%と5月の65.1%から上昇したものの、適正水準と考えられる80%を大きく下回っています。

ポイント② 小売売上は2カ月連続増

16日発表の小売売上高も、6月には前月比+7.5%と5月の同+18.2%に続いて2カ月連続の増加となりました。前年同月比では+1.1%と5月の-5.6%から上昇し、4カ月ぶりにプラスに転じました。

各地で経済活動が再開されてきたことが、鉱工業生産や小売売上の回復をもたらしているとみられます。景気循環とほぼ一致して変動する傾向がある鉱工業生産や小売売上の増大は、米国景気が全体的に回復に向かっていることを示しています。

7月30日発表の米国の4-6月期の実質GDP（国内総生産）は、4月までの景気の落ち込みが厳しかったために大幅なマイナス成長になりそうですが、7-9月期には前期比プラス成長に転じるものと予想されます。

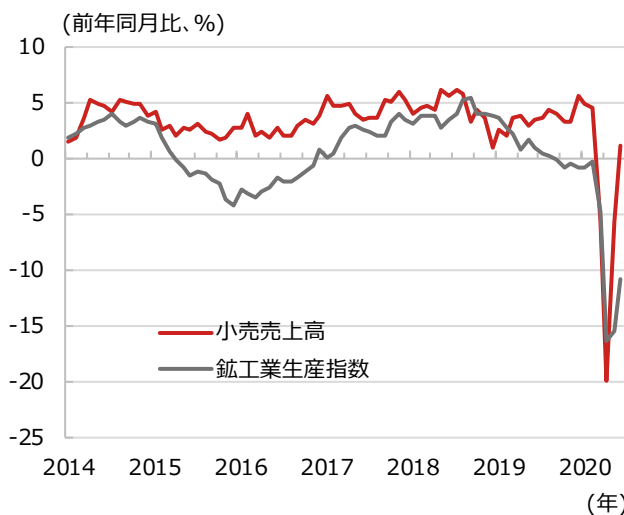
ポイント③ 感染第二波の影響に注意

ただ、米国の南・西部を中心に新型コロナウイルスの感染が再拡大しており、感染第二波の様相が強くなっていることには注意が必要です。

特に、米国の州別人口の上位3位までを占め、経済規模も大きいカリフォルニア、テキサス、フロリダでの感染拡大が顕著であり、これらの州の感染動向は、今後の米国景気を大きく左右する可能性があります。

図1：米国の鉱工業生産指数と小売売上高

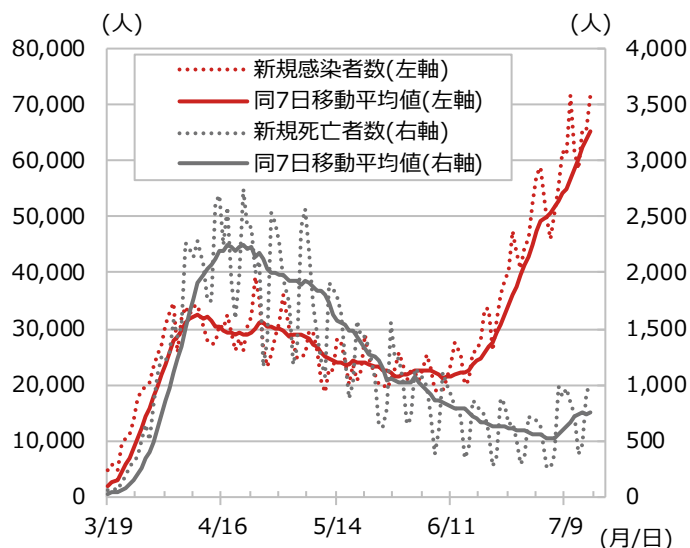
期間：2014年1月～2020年6月、月次



(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

図2：米国の新型コロナウイルス新規感染者と死亡者

期間：2020年3月19日～2020年7月15日、日次



(出所) <https://www.worldometers.info/coronavirus/country/us>より野村アセットマネジメント作成

重要
イベント

7月29日 米金融政策発表
7月30日 米GDP（4-6月期、速報値）
7月31日 米個人所得・消費支出、個人消費支出デフレーター（6月）

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。